

2020 年度事業報告

特定非営利活動法人ふぉーらいふ

総括

不登校状態にある児童・生徒が法人の教育理念「自主」「自立」「生活と命」に基づく活動へ主体的に参加することができた。また青少年本部、神戸市青少年育成支援事業補助金などの助成を受け、自然体験活動や地域交流を企画し、コロナ禍で消毒ほか対策を講じて、一部臨時休校の措置を取ったものの可能な限り、スクールの児童・生徒たちが安全に各活動へ参画できるようサポートを行い、各活動を通して、児童・生徒たちの意欲を高めることができた。コロナ禍での対応については別紙 1 を参照。

(1) 青少年が主体となって総合的に学び、育ちあうフリースクールの運営

1. 自然体験・仕事体験の実施

青少年本部、神戸市青少年育成支援事業補助金による助成を受け、里山工房で自然体験活動を実施し、学校外で学び育つ一般参加の小中生を含め、6月は11名、10月は11名、2月は19名の子どもが参加した。

ホームスクーラーや、他のフリースクールの方々との交流の場が実現し、学校に行きづらい子どもたちが、指導者のもとで、ツリーハウス作りや木工作品作りを通して、道具の使い方、自然との共生の意味を知ることができた。また、コロナ禍で色々な活動に制限がかかる中、自然の中で、子どもたちがのびのびと過ごすことができた。



2. オンラインスクール・アウトリーチスクールの実施

新型コロナウイルスの影響による休校期間の間に、ZOOMを用いたオンラインスクールを実施し、15名の子どもが参加した。また、ZOOMに拒否感のある子どもには、電話やメールでのコミュニケーションを取るとともに、全ての子どもたちの家庭に訪問するアウトリーチスクールを行った。

オンラインスクールでは、休校により、家で過ごす子どもたちが孤立せずに、休校中でも友達やスタッフと話せる環境を作ることができた。また、アウトリーチスクールでは、在籍する子どもの自宅をスタッフが訪問し、直接子どもたちと会う機会や、家庭で遊べるボードゲームを届け、それらをツールに在宅でも子どもたち同士が共通の体験をできるように努めた。



3. その他の活動について



3月末に大阪への卒業旅行を実施し、11名の子どもが参加した。事前に、実施方法や感染症対策について子どもたちと話し合いを重ね、安心して参加できるよう工夫した。

また、高校生が活動する高校ステーションでは、垂水区社会福祉協議会の協力のもと、『社会保障』の講座を実施し、1名の高校生が参加した。就職活動をする際や、社会に出て働き始めたときに、役立つ情報を学ぶ機会を提供することができた。



(2) 学習およびコミュニケーションに関する支援事業

1. ひきこもりの若者支援

毎月第4土曜14時から年間でのべ9回、義務教育後に居場所がなく、地域で孤立しがちな若者を対象に、ゆるやかにつながりあえる場「ワカモノサロン」を実施し、各回平均で約5名が参加した。

また、絵本セラピーなど外部からの講師をお招きするイベントを、開催した。

2. 放課後クラブについて

10月から月3回の土曜に開催日程を変更し、年間でのべ12日、発達障害などの学びづらさがある小学生の学習支援を実施し、各回平均で約3名の利用者の支援を行った。

3. 学習クラブ

9月から、毎週火曜16時30分に開催し、年間でのべ28回、地域の子どもの対象に、算数を主とした学習支援を実施し、各回平均で約2名の利用者の支援を行った。

(3) 生涯学習に関する機会と場の提供

1. 公開講座の企画実施について

11月に公開講座として、こうべLDの会と協働し、くすのきゆり氏を講師に招き、当事者の視点で発達障害をテーマに講演いただき、49名が参加した。

また、思春期講座として渡辺和美氏を講師に招き、6月～10月の全5回で講座を開催し、全回を通して、約20名が参加した。

2. フリースクール20周年記念事業について

コロナ禍のため、当初予定されていた書籍が、1年延期となり来期で刊行の予定。

(4) 教育や不登校などの相談及び支援・情報の提供活動

1. 教育や不登校などの相談及び支援・情報提供活動について

当法人多目的室(ルームB)にて、毎月第3土曜日に一般公開の不登校親の会を開催し、年間11回、のべ96名が参加した。うち、年間2回は、不登校当事者を招き、11月に当スクールに在籍しているメンバー、3月に親の会参加者の子どもで不登校経験者を交え、自

身の不登校経験などを聞く場を設け、11月は10名、3月は9名が参加した。

隔月の奇数月第一土曜日に、こうべLDの会と協働で、発達障害について考える親の会を開催し、年間6回、のべ24名が参加した。

団体機関紙「ゆう通信」を年4回発行し、各回とも会員、支援者、関係機関に向けて、約250ヶ所へ発送した。

2. インターンの受け入れについて

今期は、コロナ禍のため、当初予定されていたインターンシッププログラムが中止された一方で、神戸看護大学2名（うち1名はボランティア）、甲南大学1名、立命館大学1名の学生3名を受け入れ、卒業研究のために必要な、現場での体験や、スタッフへの聞き取り調査に協力した。また、卒業研究をきっかけに、ボランティアにつながった事例もあった。

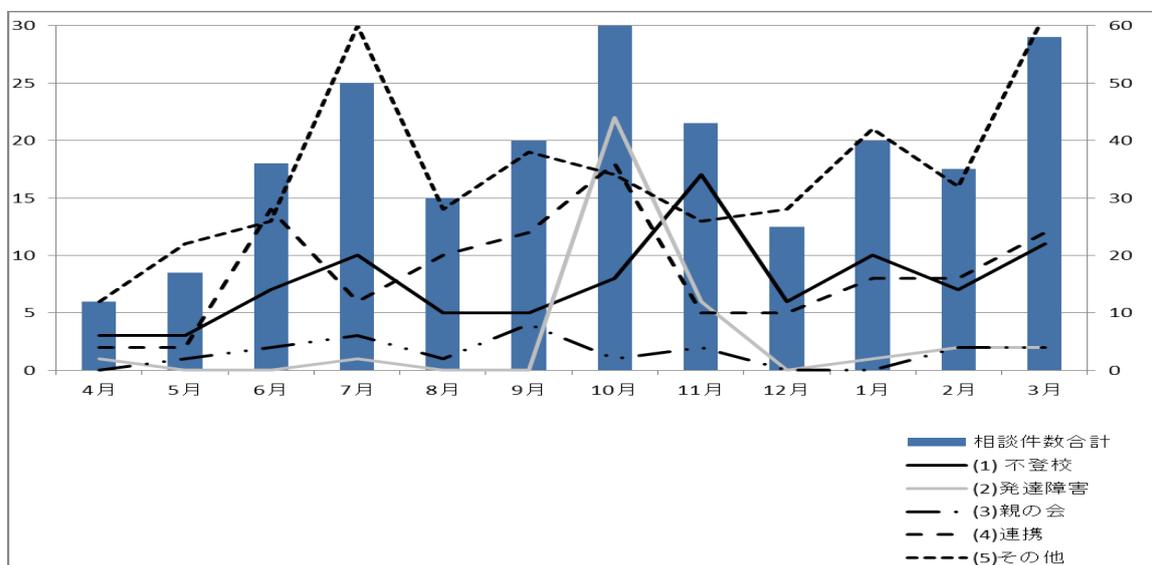
3. 日常的は相談支援について

平日に電話、メールによる相談を受けた。年間の相談件数と内訳は、図1、2のとおり。

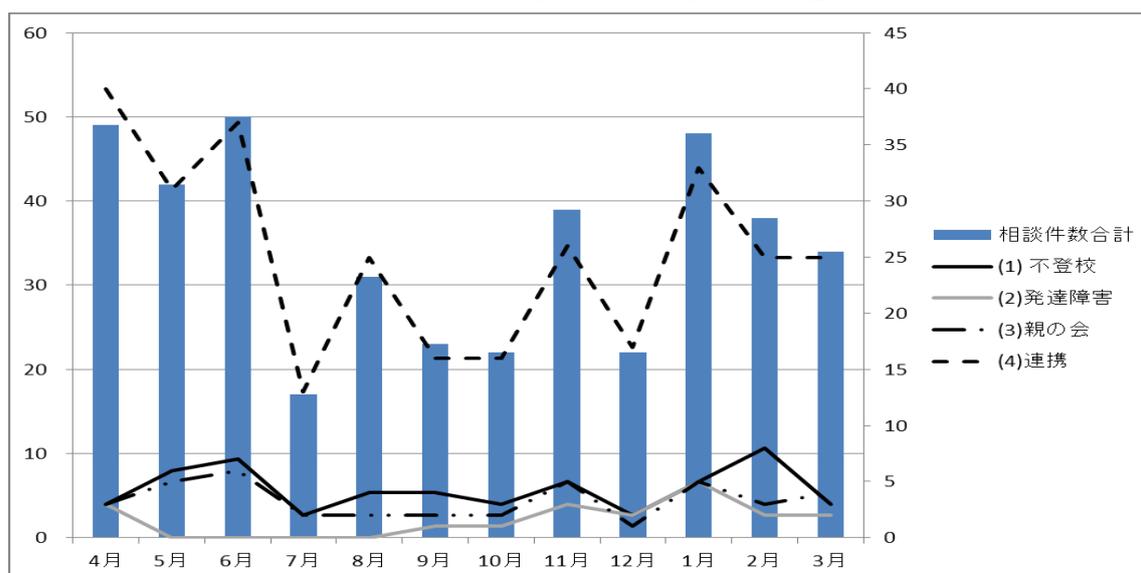
4. その他、団体内部での取り組みについて

毎月第2・第4火曜日に、職員とボランティアが情報共有できる場を設定し、各自が抱えるケースの共有を行った。

(図1) 2020年度の電話相談件数の推移



(図2) 2020年度のメール相談件数の推移



(5) その他第3条の目的を達成するために必要な事業及び前号の事業に付帯する事業

1. 当法人の地域参画等について

フリースクール全国ネットワーク、ふりー！すくーりんぐなどが主催する会議体において、不登校支援団体との意見交換や各種提言、企画などに協力した。また「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法」(教育確保法)の成立に伴い引き続き「兵庫県フリースクール連絡協議会」に主体的に参画し、各教育委員会(神戸市/明石市/尼崎市など)との連絡会に参加し、不登校の子どものために、より良い環境設定の要望を示した。その他、当法人の蓄積(教育・福祉・子ども・青少年)を活かし、神戸市垂水区社会福祉協議会と協働し、赤い羽根共同募金を財源とする公募型助成事業の仕組みづくりに従事した。また、NPO法人しゃらくが受託する神戸市協働と参画のプラットフォームの運営のうち、持続可能な開発目標(SDGs)をテーマとした神戸ソーシャルセミナーの企画・開催に携わった。

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

科 目 ・ 摘 要	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金		
現金	0	
振替口座(通知預金)	5,968,471	
普通預金 みなと銀行垂水支店	384,500	
普通預金 みなと銀行垂水支店(助成金)	6,119,166	
普通貯金 郵便局(一般)	989,152	
普通貯金 郵便局(助成金1)	32,326	
普通貯金 郵便局(助成金2)	2,055	
普通貯金 郵便局(放課後クラブ)	929,303	
普通貯金 郵便局(子ども貯金)	231,733	
普通預金 三井住友銀行垂水支店	0	
		14,656,706
流動資産合計		14,656,706
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品	75,938	
(2)その他固定資産		
敷 金	250,000	
		325,938
固定資産合計		325,938
		14,982,644
資 産 合 計		14,982,644
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
預り金 社会保険、所得税分	24,364	
		24,364
流動負債合計		24,364
2 固定負債		
長期借入金	0	
		0
固定負債合計		0
		24,364
負 債 合 計		24,364
		14,958,280
正味財産合計		14,958,280

当法人の財産目録に相違ありません。

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

理事長 中林 和子

2020年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

科 目	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金	5,968,471	
郵便局	2,184,569	
みなと銀行	384,500	
助成金口座	6,119,166	
三井住友	0	
流動資産合計		14,656,706
2 固定資産		
工具器具備品	75,938	
敷金	250,000	
固定資産合計		325,938
資産合計		14,982,644
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
預り金 社会保険、所得税分	24,364	
流動負債合計		24,364
2 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		24,364
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		14,323,538
当期正味財産増加額		634,742
正味財産合計		14,958,280
負債及び正味財産合計		14,982,644

2020年度 特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

特定非営利活動法人 ふぉーらいふ

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1.受取会費		
NPO会員 年会費5,000	127,000	
支援会員 年会費3,000	144,000	
	0	271,000
2.受取寄付金		
一般	223,552	
20周年事業	160,250	
書籍出版	0	
		383,802
3.受取助成金等		
神戸市青少年育成事業	91,507	
兵庫県青少年本部助成事業	100,000	
垂水区社会福祉協議会協働コーディネート事業	660,000	
協働と参画のプラットホームコーディネート事業	570,440	
赤い羽根共同募金(親の会)	10,000	
赤い羽根共同募金(期間拡大)	0	
大阪コミュニティ財団事業	0	
日本郵便株式会社 年賀寄附配分助成事業	0	
ひょうごん助成金	20,000	
兵庫県中小企業事業再開助成(空調機器助成金)	200,000	
		1,651,947
4.受取補助金等		
善意銀行	50,000	
		50,000
5.事業収益		
フリースクール事業	5,817,860	
学習・コミュニケーション事業	2,767,600	
講座事業	348,762	
親の会・通信事業	62,500	
連携事業	0	
		8,996,722
6.その他収益		
雑収入	0	
受取利息	73	
		73
経常収益計		11,353,544
II 経常費用		
1.事業費		
(1)人件費		
給料手当	3,814,280	
法定福利費	484,852	
通勤交通費	127,130	
人件費計	4,426,262	
(2)その他経費		
謝金	421,860	
子ども活動費	312,257	
子ども活動交通費	74,060	
消耗品費	86,609	
消耗備品費	351,605	
交通費	30,740	
通信費	181,531	
印刷費	9,640	
会議費	440	
賃借料	47,770	
新聞図書費	10,020	
水道光熱費	114,043	
交際費	0	
地代家賃	1,029,000	
保険料	38,030	
研修費	17,694	
雑費	2,320	
支払手数料	18,613	
租税公課	0	
修繕費	54,560	
諸会費	12,000	
広告宣伝費	0	
車両費	226,305	
リース料	0	
減価償却費	97,200	
その他経費計	3,136,297	
事業費計		7,562,559

2.管理費			
(1)人件費			
給料手当	2,154,240		
法定福利費	328,609		
通勤交通費	88,800		
人件費計	2,571,649		
(2)その他経費			
謝金	0		
子ども活動費	0		
子ども活動交通費	0		
消耗品費	8,448		
消耗備品費	63,113		
交通費	61,231		
通信費	6,959		
印刷費	450		
会議費	300		
賃借料	2,500		
新聞図書費	0		
水道光熱費	28,510		
交際費	1,080		
地代家賃	231,000		
保険料	0		
研修費	124,000		
雑費	0		
支払手数料	4,863		
租税公課	0		
修繕費	13,640		
諸会費	14,200		
広告宣伝費	0		
車両費	0		
リース料	0		
減価償却費	24,300		
その他経費計	584,594		
管理費計		3,156,243	
経常費用計			10,718,802
当期経常増減額			634,742
Ⅲ経常外収益			
1.過年度損益修正益	0		
経常外収益計			0
Ⅳ経常外費用			
1.過年度損益修正損	0		
2.雑損失	0		
経常外費用計		0	0
税引前当期正味財産増減額			634,742
当期正味財産増減額			634,742
前期繰越正味財産額			14,323,538
次期繰越正味財産額			14,958,280

2020年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人ふぉーらいふ

- 重要な会計方針
 - 計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会)によっています。
 - (1) 固定資産の減価償却の方法
 - 有形固定資産は、什器備品については定額法で償却をしています。
 - (2) 事業費と管理費の按分方法
 - 事業及び管理業務の実際の占有時間をもとに、対象となる経費については原則8対2で案分しています。
 - (3) 消費税等の会計処理
 - 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	フリースクール事業	学習・コミュニケーション事業	講座事業	親の会・通信事業	連携事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費								
NPO会員	0	0	0	0	0	0	127,000	127,000
支援会員	0	0	0	0	0	0	144,000	144,000
2. 受取寄附金								
一般	223,552	0	0	0	0	223,552	0	223,552
20周年寄付	160,250	0	0	0	0	160,250	0	160,250
書籍	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 受取助成金等								
神戸市青少年の居場所づくり事業	91,507	0	0	0	0	91,507	0	91,507
兵庫県青少年本部助成事業	100,000	0	0	0	0	100,000	0	100,000
垂水区社会福祉協議会協働コーディネート事業	0	0	0	0	660,000	660,000	0	660,000
神戸市協働と参画のプラットホームコーディネート事業	0	0	0	0	570,440	570,440	0	570,440
赤い羽根共同募金(親の会)	0	0	0	10,000	0	10,000	0	10,000
赤い羽根共同募金(胡弓大)	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪コミュニティ財団助成事業	0	0	0	0	0	0	0	0
日本郵便株式会社 年賀寄附配分助成	0	0	0	0	0	0	0	0
ひょうごん助成金	20,000	0	0	0	0	20,000	0	20,000
兵庫県中小企業事業再開助成(空調機器助成金)	0	0	0	0	0	0	200,000	200,000
4. 受取補助金	0	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000
5. 事業収益	5,817,860	2,767,800	348,762	62,500	0	8,996,722	0	8,996,722
6. その他収益	73	0	0	0	0	73	0	73
経常収益計	6,413,242	2,817,600	348,762	72,500	1,230,440	10,882,544	471,000	11,353,544
II 経常費用								
(1) 人件費								
給料手当	2,479,282	1,334,998	0	0	0	3,814,280	2,154,240	5,968,520
法定福利費	315,154	169,698	0	0	0	484,852	326,609	811,461
通勤交通費	92,635	44,496	0	0	0	127,130	66,800	215,930
人件費計	2,877,070	1,549,192	0	0	0	4,426,262	2,571,649	6,997,911
(2) その他経費								
謝金	274,209	147,651	0	0	0	421,860	0	421,860
子ども活動費	202,967	109,280	0	0	0	312,257	0	312,257
子ども活動交通費	48,139	25,921	0	0	0	74,060	0	74,060
消耗品費	56,296	30,313	0	0	0	86,609	8,448	95,057
消耗備品費	228,543	123,062	0	0	0	351,605	63,113	414,718
交通費	19,981	10,759	0	0	0	30,740	61,231	91,971
通信費	117,995	63,536	0	0	0	181,531	6,959	188,490
印刷費	6,266	3,374	0	0	0	9,640	450	10,090
会議費	286	154	0	0	0	440	300	740
賃借料	31,051	16,720	0	0	0	47,770	2,500	50,270
新聞図書費	6,513	3,507	0	0	0	10,020	0	10,020
水道光熱費	74,138	39,915	0	0	0	114,043	28,510	142,553
①ガス	8,535	5,299	0	0	0	13,834	0	13,834
②電気	68,538	30,331	0	0	0	98,869	0	98,869
③水道	12,029	6,122	0	0	0	18,150	0	18,150
④灯油	8,113	3,588	0	0	0	11,700	0	11,700
交際費	0	0	0	0	0	0	1,080	1,080
地代家賃	658,850	360,150	0	10,000	0	1,029,000	231,000	1,260,000
保険料	24,720	13,311	0	0	0	38,030	0	38,030
研修費	11,501	6,193	0	0	0	17,694	124,000	141,694
雑費	1,508	812	0	0	0	2,320	0	2,320
支払手数料	12,098	6,515	0	0	0	18,613	4,863	23,476
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	35,464	19,096	0	0	0	54,560	13,640	68,200
経費費	1,800	4,200	0	6,000	0	12,000	14,200	26,200
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0
車両費	147,098	79,207	0	0	0	226,305	0	226,305
リース料	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	63,180	34,020	0	0	0	97,200	24,300	121,500
その他経費計	2,022,593	1,097,704	0	16,000	0	3,136,297	584,594	3,720,891
経常費用計	4,899,663	2,646,896	0	16,000	0	7,562,559	3,156,243	10,718,802
当期経常増減額	1,513,579	170,704	348,762	56,500	1,230,440	3,319,985	△ 2,685,243	634,742
III 経常外収益								
1. 過年度損益修正益	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 経常外費用								
1. 過年度損益修正損	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 雑損失	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期正味財産合計額	1,513,579	170,704	348,762	56,500	1,230,440	3,319,985	△ 2,685,243	634,742

3. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	486,000	0	0	486,000	410,062	75,938
敷金	250,000	0	0	250,000	0	250,000
合計	736,000	0	0	736,000	410,062	325,938

4. 使途等が制約された助成金及び寄付金等の内訳
使途等が制約された助成金及び寄付金等の内訳は下表のとおりです。

内容	期首取得価額	取得	減少	期末残高	備考
神戸市青少年の居場所づくり事業	0	91507	91507	0	神戸市助成金/青少年の居場所づくり事業に充当
青少年本部助成事業	0	80000	80000	0	青少年本部助成金/子どもの自然体験活動の運営費に充当
赤い羽根共同募金(親の会)	0	10000	10000	0	赤い羽根共同募金/お母さんのための思春期講座の運営に充当
ひょうごん助成	0	20000	20000	0	ひょうごん市民活動協議会/ひょうごん助成金事業事務費に充当
兵庫県中小企業事業再開助成(空調機器助成金)	0	200000	200000	0	兵庫県中小企業事業再開助成(空調機器助成金)/空調設備の購入ならびに新設工事の経費に充当
遺贈寄付	3000000	0	3000000	2700000	寄付者のご遺志により、10か年計画をたて、フリースクールForLifeならびに高校ステーションの構築に充当
善意銀行	0	50000	50000	0	垂水区社会福祉協議会助成金/発達障害の子どもの学習支援事業に充当
20周年記念事業寄付	208782	160250	0	369032	団体設立20周年記念事業に充当
書籍出版	397915	0	0	397915	出版事業に充当

2021年5月28日

監査報告書

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

理事長 中林和子殿

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

監事

近藤寿夫 

私は、特定非営利活動促進法第18条に基づき、2020年度(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の特定非営利活動法人ふおーらいふの会務及び財産の状況について監査を実施いたしました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令および定款に違反する事実はなく、2020年度の特定非営利活動法人ふおーらいふの財産目録及び貸借対照表及び活動計算書は適正なものと認めます。

2021 年度事業計画

■事業の方針

当法人定款第 5 条に定める 5 つの事業を実施するとともに、下記に記載する新規・拡充事業に注力することで、不登校状態にある児童生徒の自主・自立の支援ならびに、発達障害の子ども支援および、彼らの保護者支援を包摂的に行う。

注力する新規または拡充事業は、次の通り。

- (1) **拡充**非接触型検温器、アルコール消毒スプレー、飛沫防止シート、アクリル板等を設置し、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）対策を講じたうえでフリースクールを開校する。また、利用者の登校下校時には施設内の消毒作業を行う。なお、感染症による休校の判断は、当法人で定める緊急事態のガイドライン（別紙 2-1 及び 2-2）に沿って行う。

- (1) **拡充**従来の体験学習プログラム（野外活動、旅行行事、文化祭、その他スポーツ体験等）は、検温・消毒・マスクの着用・フィジカルディスタンスの維持・常時換気を行ったうえで継続する。

- (1) **拡充**従来の体験学習プログラムの見直し及び深化・発展を目指すため、ユネスコに加盟申請し、ユネスコスクールのネットワークに参加する。

- (2) **新規**大阪コミュニティ財団からの助成のもと、義務教育後の青少年を対象に、料理・芸術・音楽・法律・自分研究の講座（ゼミ Cafe）を実施する。

- (3) **拡充**フリースクール設立 20 周年記念事業として、フリースクール ForLife の実践を書籍化するための原稿を作成した。これを、昨年度中に刊行する予定だったが、コロナ禍のため、業者側の出版作業が大幅に遅れている。担当者からは 2021 年 12 月をめどに、Amazon から発行予定と連絡を受けている。本事業（出版）には、20 周年記念への寄付と出版への寄付を財源に充当し、出版記念の会を検討する（別紙 3）。

- (4) **新規**コロナ禍で困難が増したフリースクール利用者に経済的支援がなされるよう、休眠預金活用等の取り組み及び相談事業を行う（別紙 4-1 及び 4-2）。

- (5) **拡充**「神戸市協働コーディネート事業」として、NPO 法人しゃらく、認定 NPO 法人 CS 神戸とともに、市内の学習支援、子ども食堂に取り組む個人、団体を発掘し、社会福祉協議会や神戸市の関係部局につなぐ業務の一部を担う。

(1) 青少年が主体となって総合的に学び、育ちあうフリースクールの運営

不登校状態の小・中・高校生(20歳以下の子どもを含む)に対し、以下の形で体験型学習の機会を提供し、利用者の自己肯定感を高めるための支援を行う。

- ・小・中学生に対し、週2日教科プリント学習、読書、WEBツール等を使用して基礎学習の支援を行うとともに、個に応じた学びのサポートをする。
- ・三田市里山工房をはじめとする地域資源を活用し、利用者が身体及び五感を使うことのできる体験活動を提供する。また、総合学習等(運動・音楽・芸術・調理ほか)の活動を月単位で企画・実施する。その他、地域住民や団体等と協働し、利用者が地域で職業体験や社会貢献活動などができる機会を設ける。尚、これらの一部企画については、有識者で構成する運営委員会にて、より効果的な活動を企画し、実施過程について評価・検証する。
- ・関西圏の各種民間スクールと合同でスポーツや音楽等を通じた交流をする。
- ・スクールの年中行事として、野外活動、旅行行事、文化祭を行う。内容については利用者が主体となって企画・実施できるようにする。

感染症の影響によって、長期休校を余儀なくされた場合、フリースクール・高校ステーション利用者に向けて、以下の形でオンラインによる支援を行う

- ・感染症の影響によって、フリースクール・高校ステーションが休校になった場合、週に2日、ZOOMを利用したオンラインスクールを開き、学習コンテンツの発信や、利用者スタッフ間又は利用者同士がコミュニケーションを取ることが出来る機会を設ける。
- ・オンラインスクールの他、希望者には定期的に個別ZOOMや電話でサポートをする。
- ・休校期間中、ブログやSNSを利用し、学習コンテンツを発信する。
- ・工作キット等、自宅で取り組める学習コンテンツを利用者に郵送するなど、学習の機会を提供する。

(2) 青少年等への学習およびコミュニケーション支援

不登校の児童・生徒の基礎学習支援として以下の取り組みを行う。

- ・高校ステーションでは、毎週火曜日の午前と木曜日の午後に、利用者の所属する通信制高校(兵庫県立青雲高校)のレポート学習支援を行うとともに、個に応じた進路のサポートをする。
- ・毎週火曜日の夕方に、『学習クラブ』において、主に地域の小学生を対象に、水道方式の算数教材を用いた個人別指導を行う。

小学生(発達障害の子どもを含む)の支援として以下の取り組みを行う。その際、発達障害の子どもの学習支援については垂水区社会福祉協議会との協働で事業を実施する。

- ・原則毎週土曜日の午前に、『放課後クラブ/くればす』において、利用者の子どもの学校課題や自主的に設定した基礎学習を学ぶことができる学習スペースを継続して開設する。

(3) 青少年およびその周辺の人々に対する生涯学習の機会と場の提供

不登校や発達障害をはじめ、青少年教育の諸問題について、以下の取り組みを行う。

- ・関西の民間スクールが合同で実施する勉強会、ワークグループ、運営会議等に参画し、教育に関する諸問題を学ぶ場を年に数回設ける。
- ・スクール卒業生等を中心としたワカモノサロンを実施し、参加できる企画(彼らの専門性を活かしたプログラムなど)を設け、企画の運営を通じて彼らのフォローアップを行う。

(4) 教育や不登校、子育ての悩みなどについての相談および支援・情報提供活動

不登校等教育に関する相談及び支援を行うため、以下の取り組みを行う。

- ・毎月第3土曜日に、親の会たんぼぼと協働し、不登校親の会を開催する。また、隔月第1土曜日に、こうべLDの会と協働し、発達障害親の会を開催する。
- ・平日に、電話・メールによる相談支援を行う。また希望者には対面での相談支援や情報提供を行う。
- ・フリースクール全国ネットワーク、ふりー！すくーりんぐ、兵庫教育大学ボランティア支援室等と連携し、団体情報を発信し、不登校や教育に関する情報交換に取り組む。
- ・年3回程度、不登校や発達障害に関する講演会もしくは研修会を企画実施する。
- ・年4回、団体機関紙『ゆう通信』を発行し、NPO会員、支援会員、その他関係各所へ送付し、情報提供を行う。
- ・現在管理運営中のWEBサイト(団体公式サイト、ブログ、SNS、YouTube他)を通じて、情報の発信を行う。
- ・大学生を対象としたインターンシッププログラムを用意し、近隣大学などの依頼があれば、内容を検討し、可能な限り随時受け入れを行う。
- ・地域のボランティア(主に学習支援)を募集し、子どもに適切な文化教養を提供することができるような環境設定と、子どもへの理解を養うプログラムを行う。

(5) その他の事業

法人の定款第3条の達成に必要な事業および(1)～(4)に附帯する事業として以下の事に取り組む。

- ・教育行政との連携会議などへ積極的に参加する。
- ・「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」についての学習を通して、子ども・家庭への支援の配慮を行う。
- ・関係団体と連携し、スクール利用者の権利(小・中学生の出席認定、高校生を含む通学定期券の発行)を認めてもらえるよう、行政窓口等へ働きかける。
- ・青少年や発達障害の子ども支援、NPOの運営改善に関わる財源確保のため、常勤職員1人当たり1事業を目標に企画書を作成し、民間企業等が公募する助成金事業に申請する。

- ・団体職員、非常勤職員（ボランティア含む）の資質向上のため、内閣府や県青少年本部、NPO 法人フリースクール全国ネットワーク、日本 LD 学会等が主催する研修会等に参加する。
- ・兵庫県立青雲高等学校評議員に参加し、通信制課程で学ぶ高校生の支援を行う。
- ・兵庫県垂水警察署警察協議会に参加し、地域の防犯、青少年の安全・安全に貢献する。
- ・フリースクール全国ネットワークの企画や情報交換の場に参画し、全国的な不登校問題の環境改善に貢献するほか、登校拒否・不登校を考える全国ネットワークとの連携により全国的な親の会の情報や課題等を共有する。
- ・大学の授業や各種団体が企画する講座、垂水区社会福祉協議会協働コーディネート事業、神戸市協働コーディネート事業へ職員を派遣し、法人が蓄積してきたノウハウを地域社会へ還元することで、学校外で学び育つ子どもに対する地域社会の理解を促進する。
- ・他団体と協働し、2030SDGs を活用した、持続可能な開発目標を学び体験する講座などを実施する。
- ・フリースクール設立 20 周年記念事業として、書籍出版および祝賀会を企画・実施する。
- ・理事会の開催の頻度を上げ、当法人の運営にかかわる機能の見直しを行う。

2021年度 活動予算

科目・摘要		金額	
I 経常収益			
1	会費収入		
	NPO会員 年会費 5000円	120,000	
	支援会員 年会費 3000円	90,000	210,000
2	受取寄付金		
	一般	100,000	
	20周年事業	200,000	
	書籍出版	200,000	500,000
3	受取助成金等		
	神戸市青少年の居場所づくり助成	90,000	
	大阪コミュニティ財団	230,000	
	垂水区社会福祉協議会協働コーディネート事業	617,158	
	協働と参画のプラットフォームコーディネート事業	700,800	
	赤い羽根共同募金(親の会)	10,000	
	ひょうごん助成金事業	20,000	
		0	
		0	1,667,958
4	受取補助金		
	善意銀行	50,000	50,000
5	事業収入		
	フリースクール事業	7,632,000	
	学習・コミュニケーション事業	1,719,000	
	講座事業	20,000	
	親の会・通信	20,000	
	連携事業	20,000	9,411,000
6	その他の収入		
	受取利息	200	
	雑収入		200
	経常収益計		11,839,158
II 経常費用			
1	事業費		
	(1) 人件費		
	給与手当	4,806,000	
	法定福利費	660,000	
	通勤交通費	360,000	
	人件費計	5,826,000	
	(2) その他経費		
	謝金	520,000	
	子ども活動費	250,000	
	子ども活動交通費	70,000	
	消耗品費	70,000	
	消耗備品費	50,000	
	交通費	150,000	
	通信費	85,000	
	印刷費	447,915	
	会議費	10,000	
	賃借料	160,000	
	新聞図書費	10,000	
	水道光熱費	120,000	
	交際費	110,000	
	地代家賃	1,029,000	
	保険料	70,000	
	研修費	100,000	
	雑費	10,000	
	支払手数料	30,000	
	租税公課	20,000	
	修繕費	0	
	諸会費	30,000	
	広告宣伝費	20,000	
	車両費	180,000	
	リース料	25,000	
	減価償却費	97,200	
	その他経費計	3,664,115	
	事業費計		9,490,115

2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	1,784,556		
法定福利費	300,000		
通勤交通費	90,000		
人件費計	2,174,556		
(2) その他経費			
謝金	31,500		
子ども活動費	0		
子ども活動交通費	0		
消耗品費	10,000		
消耗備品費	10,000		
交通費	135,400		
通信費	10,000		
印刷費	10,000		
会議費	5,000		
賃借料	5,000		
新聞図書費	5,000		
水道光熱費	1,200		
交際費	5,000		
地代家賃	231,000		
保険料	10,000		
研修費	50,000		
雑費	5,000		
支払手数料	10,000		
租税公課	1,000		
修繕費	0		
諸会費	14,200		
広告宣伝費	0		
車両費	0		
リース料	0		
減価償却費	24,300		
その他経費計	573,600		
管理費計		2,748,156	
経常費用計			12,238,271
当期経常増減額			△ 399,113
Ⅲ 経常外収益			
1 過年度損益修正益	0		
経常外収益計		0	0
Ⅳ 経常外費用			
1 過年度損益修正損	0		
2 雑損失	0		
経常外費用計		0	0
税引前当期正味財産増加額			△ 399,113
当期正味財産増加額			△ 399,113
前期繰越正味財産額			14,958,280
次期繰越正味財産額			14,559,167

役員改選について

定款第 20 条により、今期が役員改選にあたる。
候補者は次の通り

理事候補：河合将生氏
近藤妙子氏
高宮静男氏
田中まち子氏
津谷治英氏
中林和子氏
羽下大信氏
矢野良晃氏

監事候補：近藤壽夫氏

トータルアドバイザー：當間克維氏

令和 3年 6月20日

特定非営利活動法人ふおーらいふ

〒655-0022 兵庫県神戸市垂水区瑞穂通7-2

TEL 078-706-6186 FAX共通

メール forlife@hi-net.zaq.ne.jp

ホームページ <http://www3.to/forlife>

YouTube <https://www.youtube.com/user/FreeSchoolForLife>